

# CASBEE®-戸建(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH\_NC\_2018v1.0

## 1-1 建物概要

建物名称	認定S-ZEH第1号棟	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2018年7月	竣工	持ち込み家電等	確定
建設地	兵庫県淡路市	確定	外構の仕様	確定
用途地域	無指定	確定	<備考>	
省エネルギー地域区分	6地域	確定		
構造・構法	木造在来工法	確定		
階数	2	確定		
敷地面積	834 m <sup>2</sup>	確定	評価の実施日	2018年11月8日
建築面積	89 m <sup>2</sup>	確定	作成者	西尾 夢
延床面積	124 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2018年11月8日
世帯人数	3	確定	確認者	長崎 弘志

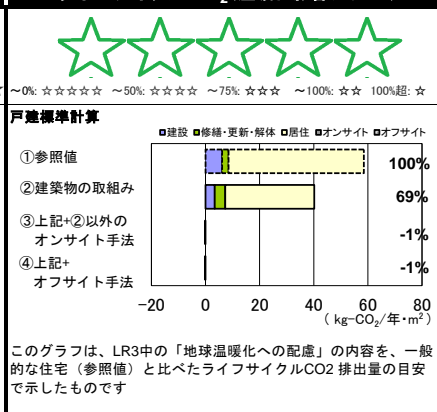
## 1-2 外観



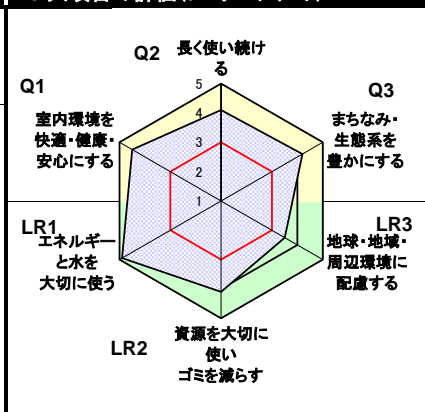
## 2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)



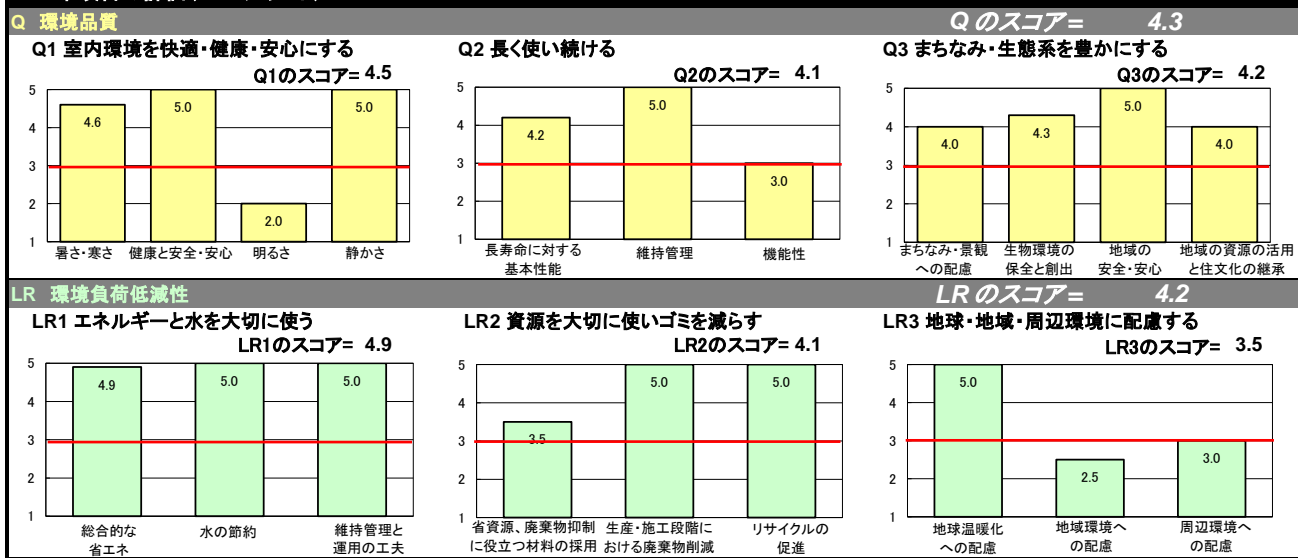
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価 (バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>建物の断熱性能を高めることや自然エネルギー利用、冷暖房によるエネルギー消費を低く抑えるためのカウンターアローファンや薪ストーブ(燃料は建設時の木炭材)の採用などにより、高い省エネルギー性を実現している。太陽光発電とトリプル蓄電システムの採用により、電力の自給自足が可能なレベルにまで性能を高めている。また、内外装への地域材の利用、敷地内の緑化や外構へのリサイクル材の採用などによりライフサイクルCO<sub>2</sub>を削減する取り組みを積極的に進めている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>IoT技術を取り入れ、住宅内の冷暖房機、給湯器、分電盤、太陽光発電システム、蓄電池と充電スタンドを宅外からも遠隔で制御でき、電力の使用量や発電量・充電量を確認できるようにしている。節電・省エネルギーにより配慮した生活の実現に努めている。</p>
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>HEAT20の外気性能水準で1地域のG2レベルの外気性能(UA値0.28)とすることで、冷暖房期のエネルギー消費量を低く抑えつつ高い快適性を実現している。カウンターアローファンで室温温度差を抑え健康な生活にも配慮している。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>制振装置を設置して耐震等級3、基礎高900の建物として自然災害にも耐えられる安全性を実現している。外壁材や屋根材は乾式工法として交換を容易にし、長期優良住宅の基準に適合する維持管理の容易性と劣化を防ぐ性能を有している。</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>1台の冷暖房設備で建物内を快適な温熱環境とするためにカウンターアローファンを採用し省エネルギー性と快適性を両立させている。トリプル蓄電システムの採用で、太陽光発電による電力の充放電を可能にして省エネルギー性を高めている。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>構造材のプレカットやグリーン購入法特定調達品目の材料、リサイクル可能な材料の使用により、省資源化・廃棄物抑制に配慮している。外構においては配慮としては再生プラスチックを使った芝生保護材や、再利用石材を使用が評価できる。</p>
<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>敷地内を芝生と砂利敷とすることで外構部への降雨の浸透性を良くすることや井戸水の利用により地域インフラへの負荷を抑制している。敷地の仕上げは周辺温熱環境にも関わるため、舗装は最小限に抑えヒートアイランド防止に配慮している。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)